

# 硝酸性窒素の排水基準をクリア!

ECO  
日本・初

## 高速排水ろ過装置

JET.CAVITY

環境保護技術

環境にやさしい高速ろ過機

バイオを使用しない  
最先端技術のろ過装置です

### 活性汚泥方 比較

バイオ(微生物)処理 原水・処理範囲	汚泥の中の微生物(バイオ・バクテリア)が有機物を分解・除去する方法 (BOD・COD処理)処理範囲(1000mg~3000mg/l) (水と二酸化炭素を放出する)
バイオ(微生物)機能低下	排水濃度(水質)の変化 殺菌剤(pH・次亜塩素酸・食用酢酸)の変化 排水量(増・減)の変化 洗剤・化学物質(pH・アルカリ性)の変化 排水温度(夏・冬)の変化 微生物の育成環境の変化にて激減し浄化機能が低下します。
沈殿・余剰汚泥が発生する (汚泥処理コストがかかる)	沈殿・余剰汚泥処理のため薬品代・脱水機・廃棄コストがかかります。
排水の貯留・滞留による ニオイが発生する	貯留・滞留による沈殿・余剰汚泥が発生します。 同時に排水は腐敗しますからニオイが発生します。
JET.CAVITY 技術 高速ワンパス排水処理	高速排水ろ過装置
高圧ジェットキャビティション ろ過処理	高水圧(8Mpa)と泡群の同時噴射です。数千度の高温化されたエネルギー水と泡群が50μmフィルターに噴射します。排水は圧力にてフィルターを透過ろ過されます。泡群はフィルターにて破碎されます。破碎時に派生するマイクロウェーブ(キャビティション)にてフィルターに付着している(SS・有機物・腐敗臭)を分解・微細化・消滅・排除し泡の浮力にてフローに排出する方法です。
高速ワンパスろ過処理 有機処理調整可 原水・処理範囲	ろ過システムは1次処理から放流まで貯留・滞留しない連続ワンパスろ過処理です。原水の水質濃度(負荷量)と放流値に合わせて(負荷調整・10ℓ単位)にて排水処理ができます。(SS・BOD・COD・油分・チッソ・リン)処理の排水調整・管理ができます。 (SS・BOD・COD・n/H・チッソ・リン)処理範囲(1000~200,000mg/l)
ろ過機は各ユニット方式	ろ過機は各ユニット方式ですから生産排水の増減があっても合理的に排水管理ができます。ろ過設備の過剰設備にはなりません。小型の省スペース設置です。
高速処理ですから周りの ニオイは少いです	排水は貯留・滞留しますとニオイ・腐敗臭が発生します。 装置は連続高速ワンパス処理ですからニオイも少ししか発生しません。
汚泥処理コスト削減	排水を貯留・滞留しませんから沈殿汚泥・余剰汚泥が発生しません。 (SS)は90%汚泥になります。ろ過装置は(SS)を80%~90%減にろ過処理できます。汚泥は少ししか発生しません。大きく汚泥処理コスト削減ができます。
初期コスト削減	ろ過装置は小型のユニットシステムです。大きな設備工事もなくスピーディに導入できます。排水の処理量にて組み合わせができますから過剰設備にはなりません。
保守コスト削減	ランニングコストは主には電気代だけです。毎月の機械の消耗品はありません。薬品薬剤費無し・汚泥処理費削減・ニオイ処理もなし経済的なシステムです。耐久性もシンプル構造で25年耐久設計です。重要な排水管理も機械管理ですから、排水管理の経験がなくても誰でもできます。ベストな排水管理システムです。

オンリーワン技術です。

信頼の水処理技術です。

製造元 ショウワ洗浄機 株式会社

本社 〒220-0061 横浜市西区久保町12番1号  
TEL 045-242-5559(代) FAX 045-242-4182  
工場 〒243-0424 海老名市社家207番1号  
TEL 046-244-6177 FAX 046-244-6187

(ホームページ) <http://www.showa-jet.co.jp>



- 受賞 「九都県市のきらりと光る産業技術」 九都県市首脳会議  
東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県(4知事) 横浜市 川崎市 さいたま市 千葉市 相模原市(5市長)
- 大賞 「神奈川工業技術開発大賞」「開発大賞」 神奈川県・神奈川新聞社
- 受賞 「産業 Navi 大賞」「環境部門・優秀賞」 神奈川県福祉振興財団
- 受賞 「発明大賞」「考案功労賞」 日本発明振興協会
- 受賞 「中小企業優秀新技術・新製品賞」「優良賞」「環境貢献賞」

日刊工業新聞社・りそな中小企業振興財団